



santec

証券コード 6777

2023年3月期 連結決算の概要

2023年 5 月31日

INDEX

1. 2023年3月期決算概要
2. santecを取り巻く市場環境
3. 2024年3月期通期見通し

INDEX

- 1. 2023年3月期決算概要**
2. santecを取り巻く市場環境
3. 2024年3月期通期見通し

2023年 3 月期ポイント

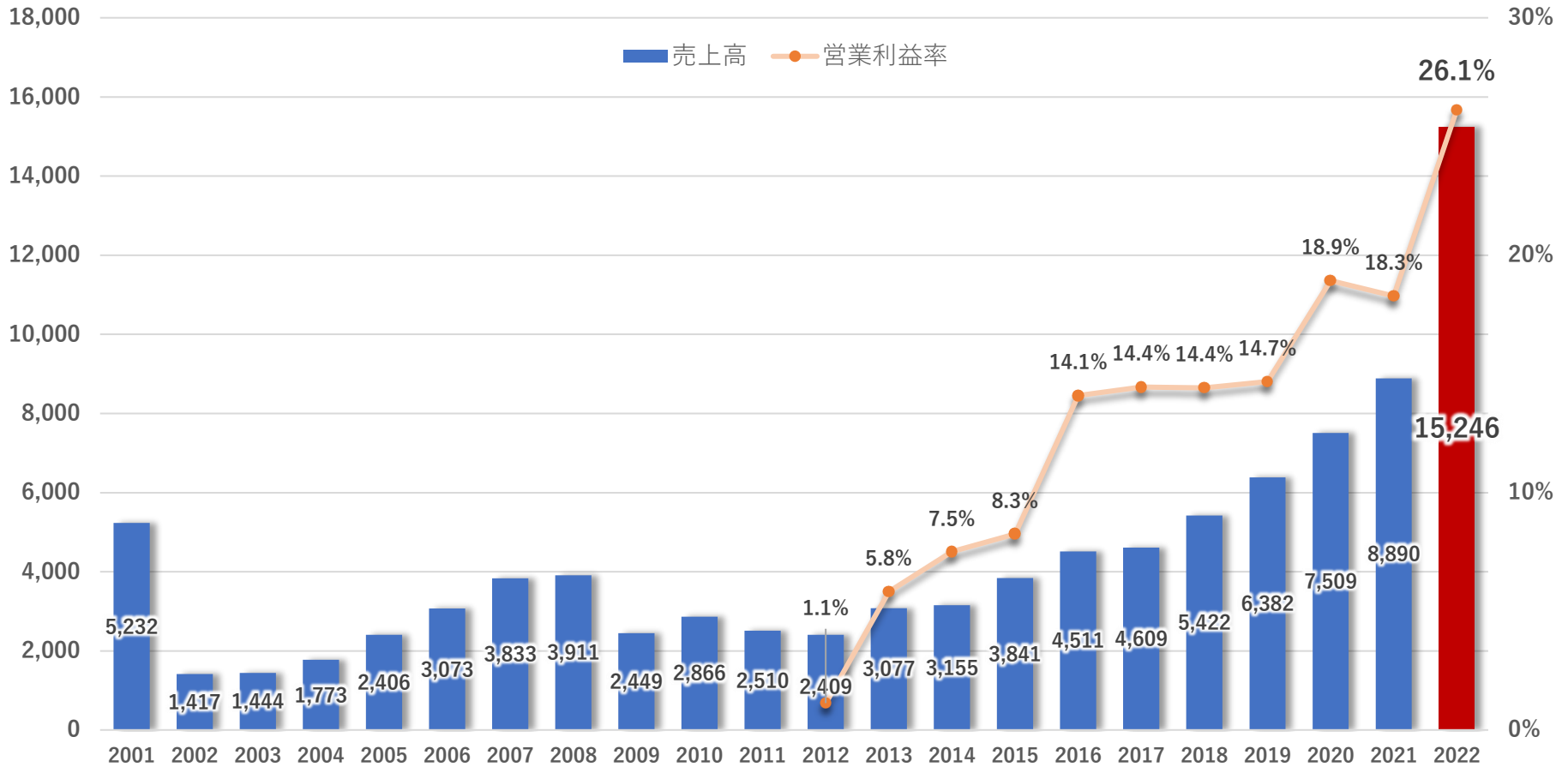
2023年 3 月期実績

- 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益が上場以来最高
- 医療用及び産業用の光測定器の販売好調
- 昨年度買収した 2 社の業績が年間を通じて寄与
- 為替の大幅円安により、利益押し上げ



売上高の推移（上場以降）

（単位：百万円）

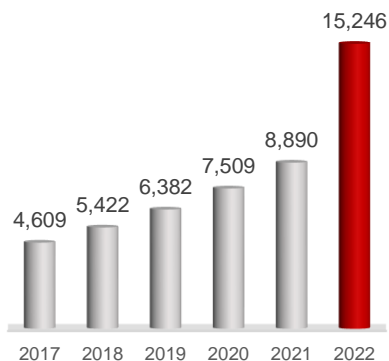


業績ハイライト

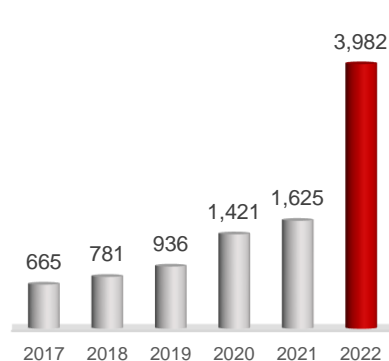
(単位：百万円)

	2022年3月期 通期	2023年3月期 通期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	8,890	15,246	+6,355	+71.5%
営業利益	1,625 18.3%	3,982 26.1%	+2,356	+145.0%
経常利益	1,932 21.7%	4,246 27.8%	+2,314	+119.8%
当期純利益	1,647 18.5%	3,001 19.7%	+1,354	+82.2%

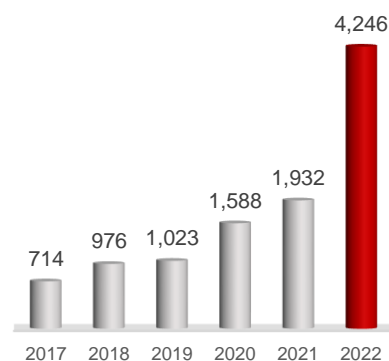
売上高



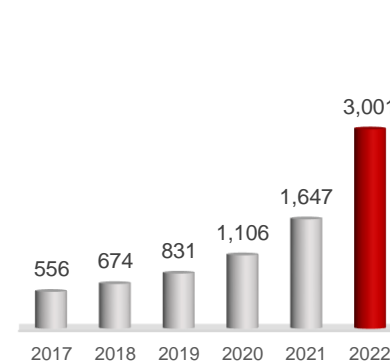
営業利益



経常利益



当期純利益



注) 2021年10月に連結子会社化したJGR Optics Inc. (現 Santec Canada Corporation) について、2023年3月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年3月期以降の営業利益、経常利益、当期純利益は、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(参考) 2023年3月期損益の分解

(単位：百万円)

	①' 2022年3月期 累計	②' 買収した子 会社の業績	2022年3月期 通期	① 2023年3月期 累計	② 買収した子 会社の業績	③ 円安効果	①+②+③ 2023年3月期 通期
売上高	8,315	574	8,890	11,798 +41.8%	1,755	1,692	15,246
売上原価	4,334	219	4,553	6,035 +39.2%	798	344	7,178
売上総利益	3,981	355	4,337	5,762 +44.7%	956	1,347	8,067
販売費および 一般管理費	2,491	203	2,695	3,055 +22.6%	782	246	4,084
営業利益	1,490	151	1,642	2,707 +81.6%	174	1,101	3,982

注) 2021年10月に買収しましたJGR Optics Inc.及びOptoTest Corp.は2023年1月の社名変更により、それぞれSantec Canada Corporation、Santec California Corporationとなりました(以下、両社をあわせて「C&C社」といいます。)

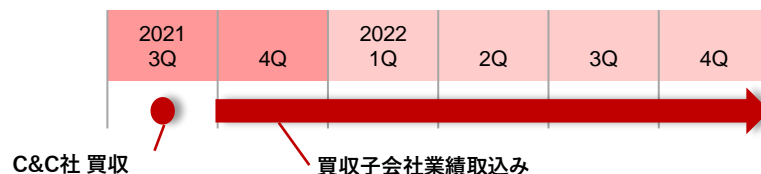
①：2023年3月期の累計業績から②～③の要素を除外した金額です。

①'：2022年3月期の累計業績から②'の要素を除外した金額です。

②：C&C社 2022年4月-2023年3月の業績です。

②'：C&C社 2022年1月-2022年3月の業績です。

③：為替が当初想定(\$1=¥115)よりも円安に推移したことによる影響額を試算したものです。



貸借対照表

	2022年3月期	2023年3月期	前期比		(単位：百万円)
			増減額	備考	
流動資産	8,842	12,116	+3,273	現金及び預金	+1,704
				売上債権	+648
固定資産	7,510	7,489	△21	繰延税金資産	△75
				投資有価証券	△49
資産合計	16,353	19,605	+3,252		
流動負債	2,464	3,452	+987	未払法人税等	+554
				仕入債務	+304
				未払費用含むその他	+173
固定負債	2,015	1,818	△196	長期借入金	△126
				繰延税金負債	△96
負債合計	4,480	5,270	+790		
純資産合計	11,872	14,334	+2,461	利益剰余金	+2,355

注) 2021年10月に連結子会社化したJGR Optics Inc. (現 Santec Canada Corporation) について、2023年3月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年3月期以降の固定資産、固定負債は、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

営業CF 増収に伴い売上債権、棚卸資産増、法人税支払で支出増



営業CF

税前当期純利益	+4,245
減価償却費(のれんの償却費含む)	+632
棚卸資産の増減	▲568
売上債権の増減	▲364
法人税等の支払	▲858

投資CF

定期預金預入	▲200
固定資産の取得	▲568
投資有価証券取得による支出	▲273
投資有価証券償還による収入	+132

財務CF

配当金支払	▲640
借入金の返済	▲126

事業別損益

(単位：百万円)

光部品関連事業

	2022年3月期 通期	2023年3月期 通期	前期比 増減額	増減率
売上高	3,079	4,244	+1,164	+37.8%
営業利益	403	1,054	+650	+161.3%

光測定器関連事業

	2022年3月期 通期	2023年3月期 通期	前期比 増減額	増減率
売上高	5,672	10,691	+5,019	+88.5%
営業利益	1,257	2,918	+1,661	+132.1%

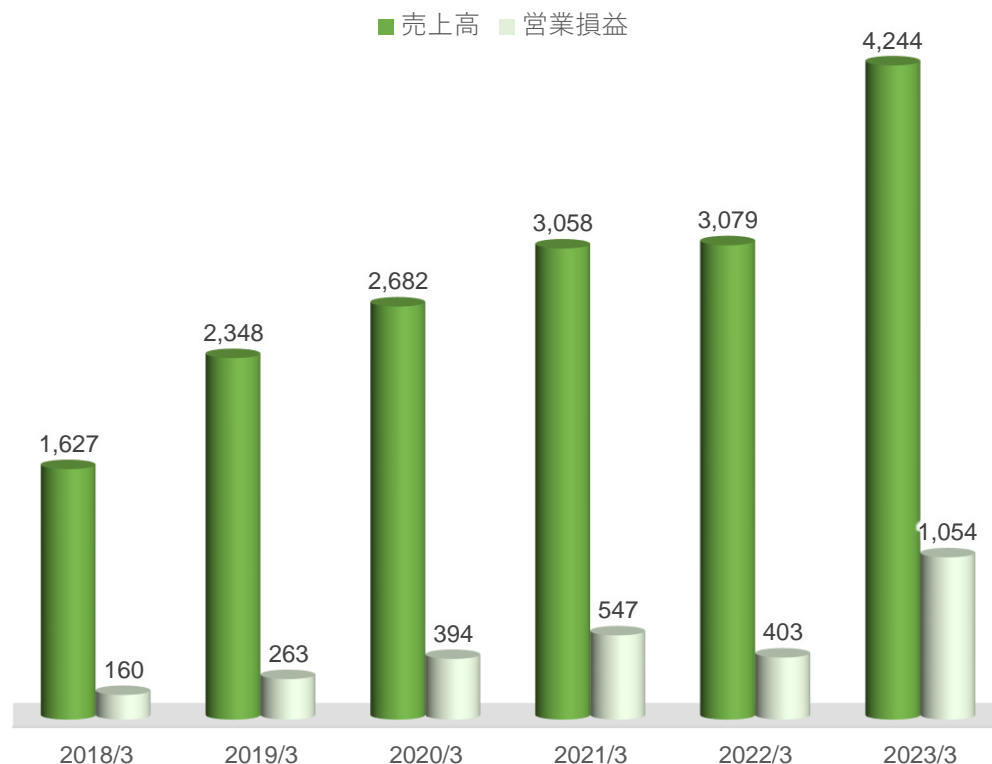
注) 2021年10月に連結子会社化したJGR Optics Inc. (現 Santec Canada Corporation) について、2023年3月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年3月期以降の光測定器関連事業の営業利益は、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

事業別損益推移 (光部品関連事業)

高収益光モニタの販売増により増収増益

(単位：百万円)

営業損益



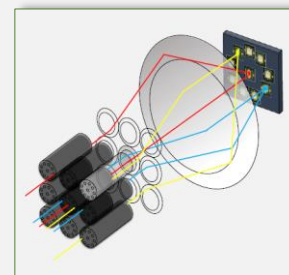
FY2022結果

製品群	前期比
光モニタ	増加 ➡
光アッテネータ	減少 ⬇

光モニタ



SLM



NICT委託研究

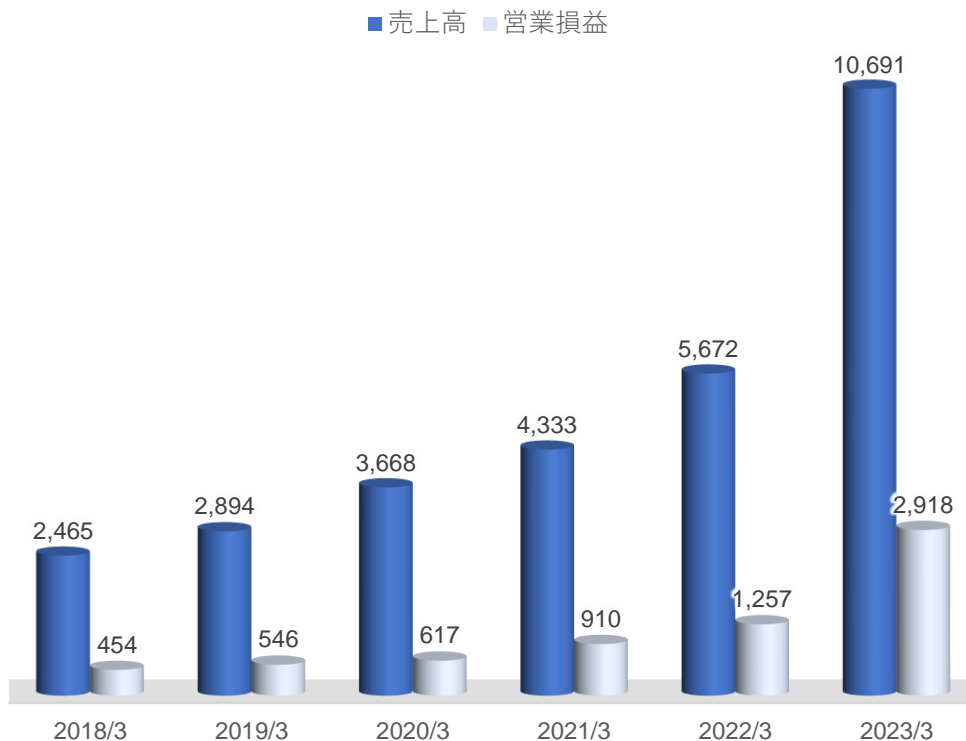
Beyond 5G
空間多重光ネットワーク・ノード技術
の研究開発

事業別損益推移 (光測定器関連事業)

医療用・産業用の販売好調、買収2社の売上寄与

(単位：百万円)

営業損益



注) 2021年10月に連結子会社化したJGR Optics Inc. (現 Santec Canada Corporation) について、2023年3月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年3月期以降の光測定器関連事業の営業利益は、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

FY2022結果

製品群	前期比
光通信用光測定器	増加 ▲
産業用光測定器	増加 ▲
医療用光測定器	増加 ▲

ARGOS®



SPA-100



IVS-2000



TMS-2000



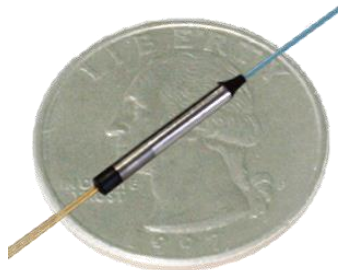
INDEX

1. 2023年3月期決算概要
- 2. santecを取り巻く市場環境**
3. 2024年3月期通期見通し

光部品関連事業を取り巻く市場環境

当社の光部品事業

小型大容量
トランシーバ向け



長距離通信向け



非通信分野



市場環境

- Web会議や動画配信の普及
- クラウドサービスの拡大



データ通信量の増加による
ネットワークインフラへの投資拡大

- 単芯ファイバの通信容量の限界
- 多芯大容量マルチコアファイバへの展開

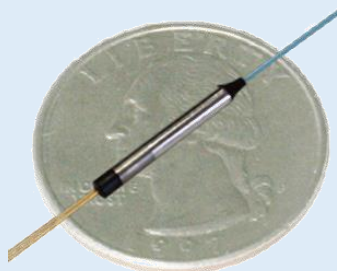
- 位相制御によるレーザー加工
- 量子コンピュータの研究

光部品関連事業の戦略（1）

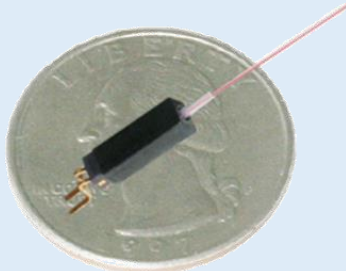
<小型大容量トランシーバ向け>

データセンタや基地局での高集積化が進む

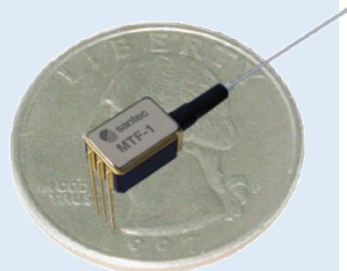
▶ 超小型化・多機能な製品が求められている



UTP-1



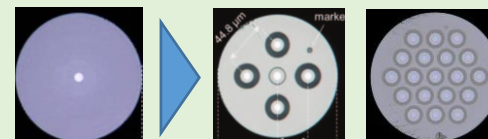
COVA-1



MTF-1

<長距離通信向け>

従来の単芯から5芯、19芯等多芯コアで通信容量拡大



単芯(従来)

5芯

19芯(最新)



複数の多芯ファイバ間の切替スイッチ(CSS)

国プロ共同研究中

今後の戦略

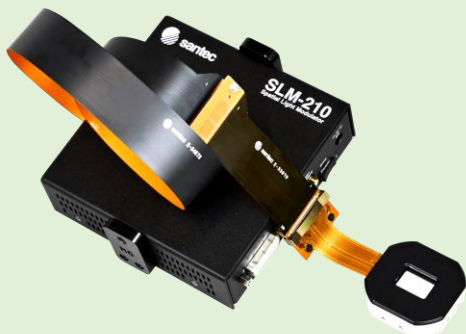
- ・ 通信分野は、大容量データ伝送に不可欠な小型大容量トランシーバ向けと長距離通信向け研究開発を推進し、顧客満足度を高めていく

光部品関連事業の戦略（2）

< 非通信分野 >

SLM(空間光変調器)

当社光部品技術を活かして、さまざまな産業用途に応じた製品モデルをリリース



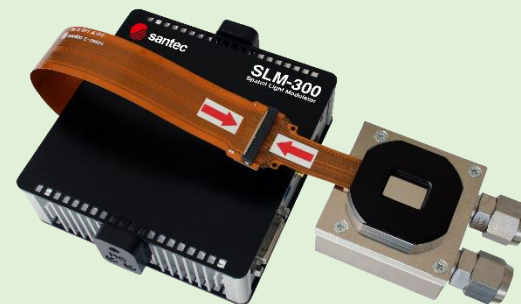
高速応答モデル

量子コンピュータ・光科学研究 など



紫外対応モデル

3Dプリンター など



高耐性モデル

レーザー加工、ICトリミング など

今後の戦略

- ・ 非通信分野は、産業用途の顧客を新規開拓し、量産化につなげる
- ・ 産学連携で、特定用途向けシーズ開発を推進

光測定器関連事業を取り巻く市場環境

当社の光測定器事業

市場環境

通信向け

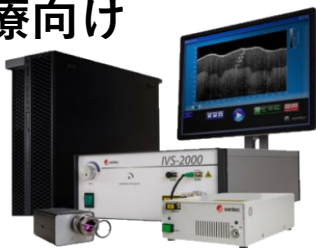


- Web会議や動画配信の普及
- クラウドサービスの拡大



データ通信量の増加による
ネットワークインフラへの投資拡大

産業/医療向け



医療、産業計測市場におけるOCT利用の拡大

医療機器



- 世界的な高齢者人口の増加
- 白内障などの眼疾患患者数の上昇
- 多焦点IOLなどによるビジョンケアのニーズの高まり

光測定器関連事業の戦略 (光通信分野)

光部品検査

光ファイバ検査



波長可変光源
(TSL-570)



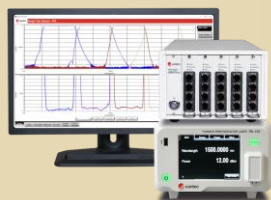
Swept Photonics Analyzer
(SPA-100)



光スイッチ
(OSX-100)



Backreflection Meter
(BRM-100)



Swept Test System



マルチポート光パワーメータ
(MPMシリーズ)



光パワーメータ
(OPMシリーズ)



Return Loss Meter
(RLM-100)

今後の戦略

- ・ センシングなどの新規アプリケーションへ拡大を目指す
- ・ 買収した2社のノウハウを掛け合わせた新製品の開発を促進させていく

光測定器関連事業の戦略 (OCT関連分野)



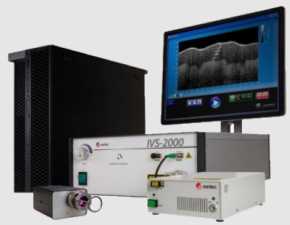
医療機器向け



HSL



産業用センサー向け



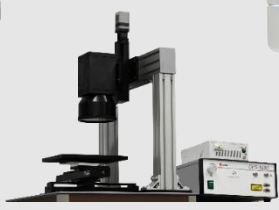
IVS



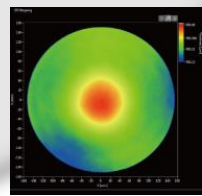
TMS



産業用検査装置

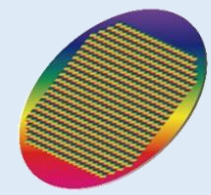


OPS



シリコンウエハ厚検査装置

半導体用シリコンウエハ
厚さ検査装置が好調



TMS-2000 製品化

新たな市場開拓に向け、高精度ウエハ厚分布測定器「TMS-2000」を2022年12月より販売開始



今後の戦略

- ・ 堅調な半導体製造装置向け計測器の応用拡大
- ・ 最先端の光計測技術を用いた新たなアプリケーションの更なる開拓、拡大

光測定器関連事業の戦略（医療分野）

市場環境

世界的な高齢者人口の増加

白内障などの眼疾患患者数の上昇

多焦点IOLなどによるビジョンケアのニーズの高まり

白内障治療の術前検査において、SS-OCT技術を使用した高精度な測定が求められている。今後もSS-OCT技術の導入が進み、需要拡大が見込まれる



今後の戦略

- ・ 戦略的アライアンス締結したAlcon社と協力し、更なる拡販を目指す
- ・ 患者様のQOL向上に役立つ次世代の製品の研究開発に努める

INDEX

1. 2023年3月期決算概要
2. santecを取り巻く市場環境
- 3. 2024年3月期通期見通し**

2024年3月期 通期業績予想

- 光部品関連事業：第2四半期以降、需要回復の見込み
- 光測定器関連事業：通信、産業、医療いずれも堅調の見通し

	2023年3月期	2024年3月期	対前期比	
	通期実績	通期予想	増減額	増減率
売上高	15,246	16,500	+1,253	+8.2%
営業利益	3,982	3,700	△282	△7.1%
経常利益	4,246	3,800	△446	△10.5%
当期純利益	3,001	2,700	△301	△10.1%
年間配当金	(*1) 80円	(*2) 80円	-	
為替 \$1あたり (期中平均)	135円	125円	-	

*1 中間配当30円、期末配当50円

*2 中間配当40円、期末配当40円

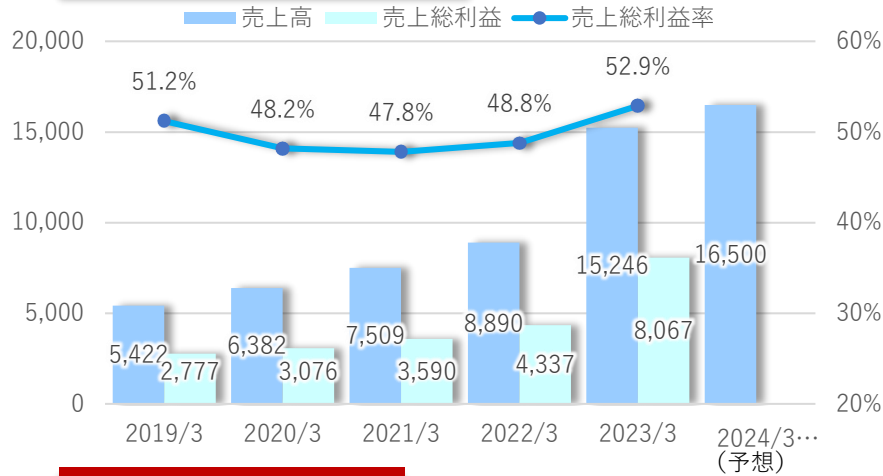
注) 2021年10月に連結子会社化したJGR Optics Inc. (現 Santec Canada Corporation) について、2023年3月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年3月期以降の営業利益、経常利益、当期純利益は、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

參考資料

主な連結業績項目の推移 ①

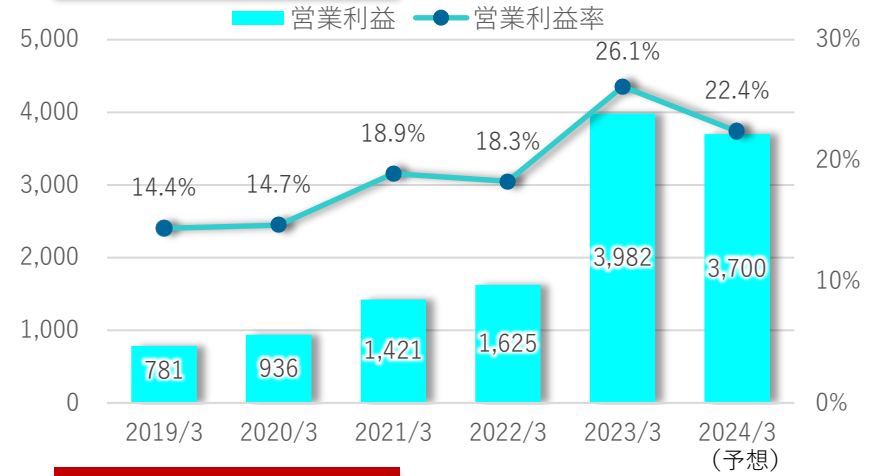
売上高/売上総利益

(単位：百万円)



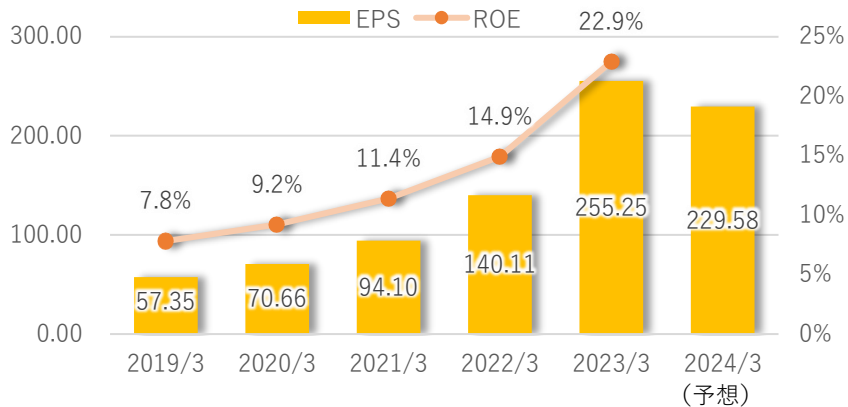
営業利益

(単位：百万円)



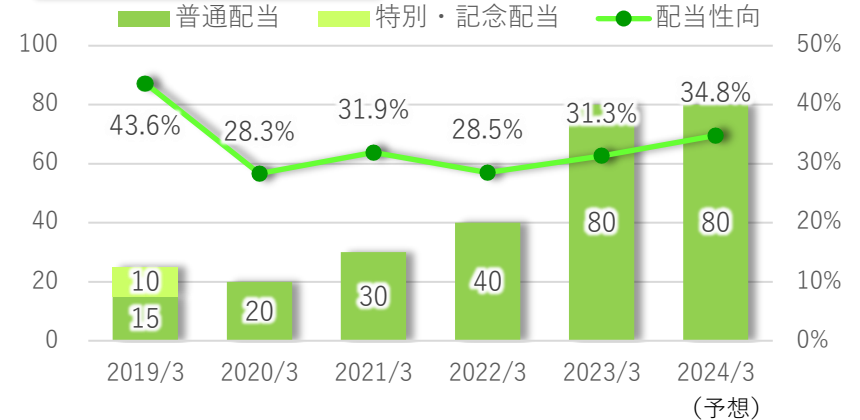
EPS/ROE

(単位：円)



配当推移

(単位：円)

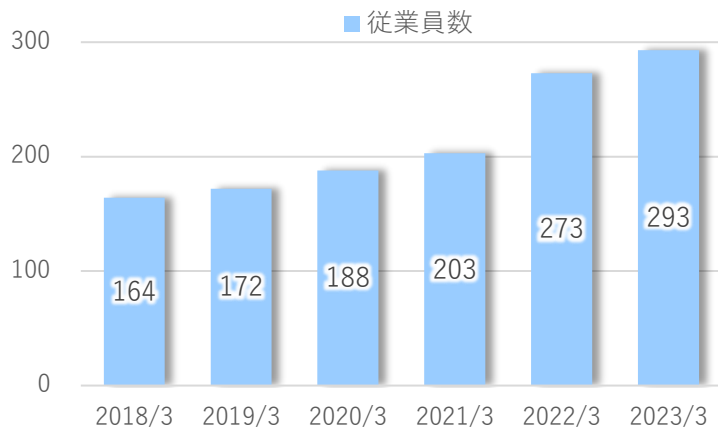


注) 2021年10月に連結子会社化したJGR Optics Inc. (現 Santec Canada Corporation) について、2023年3月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年3月期以降の営業利益、EPS/ROE、配当性向は、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

主な連結業績項目の推移 ②

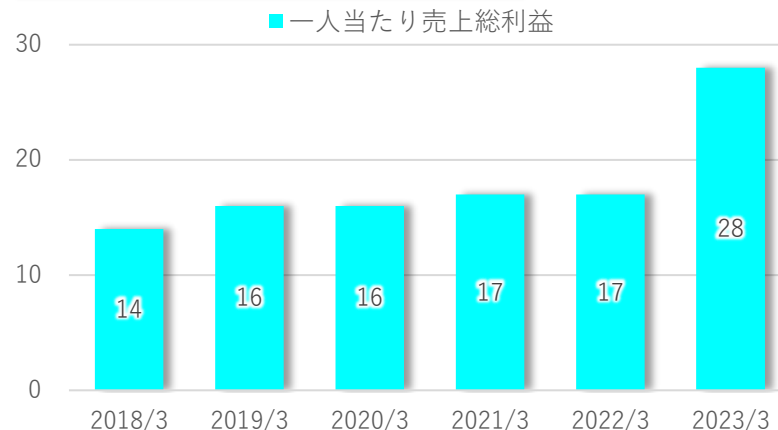
従業員数（期末）

（単位：人）



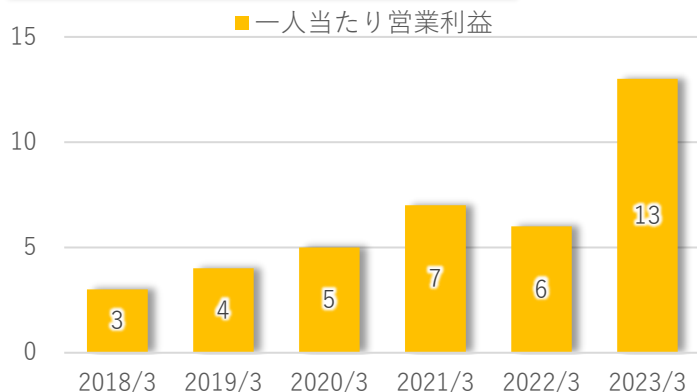
一人当たり売上総利益※

（単位：百万円）



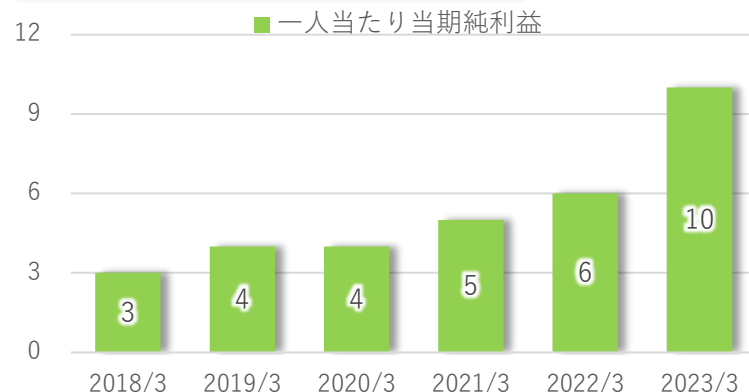
一人当たり営業利益※

（単位：百万円）



一人当たり当期純利益※

（単位：百万円）

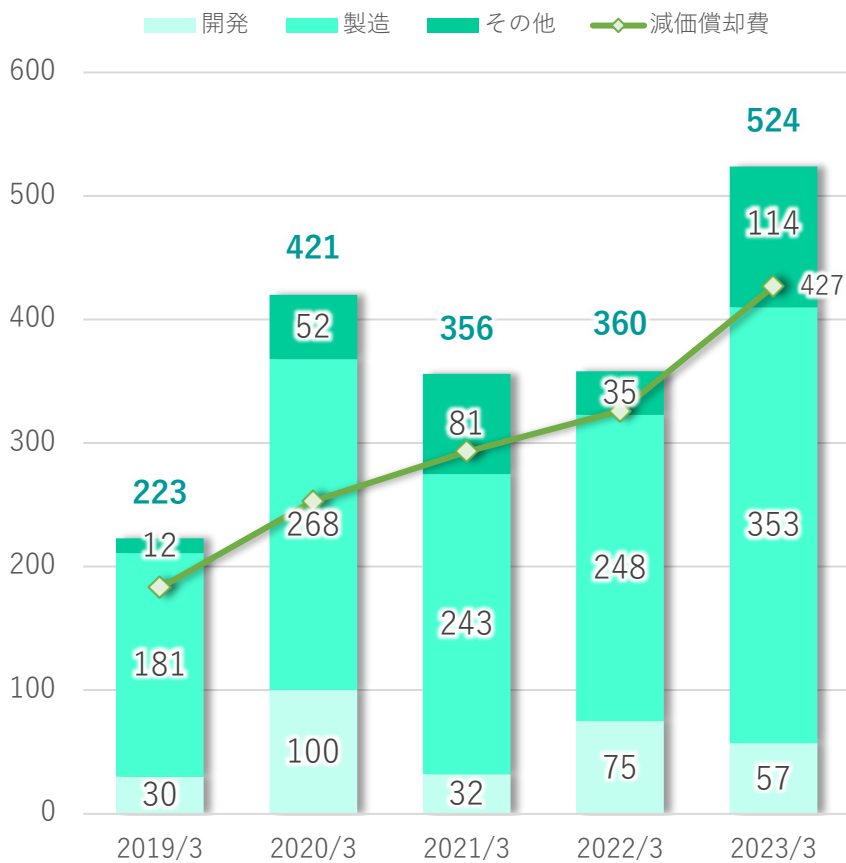


注）2021年10月に連結子会社化したJGR Optics Inc.（現 Santec Canada Corporation）について、2023年3月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年3月期以降の営業利益、経常利益、当期純利益は、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

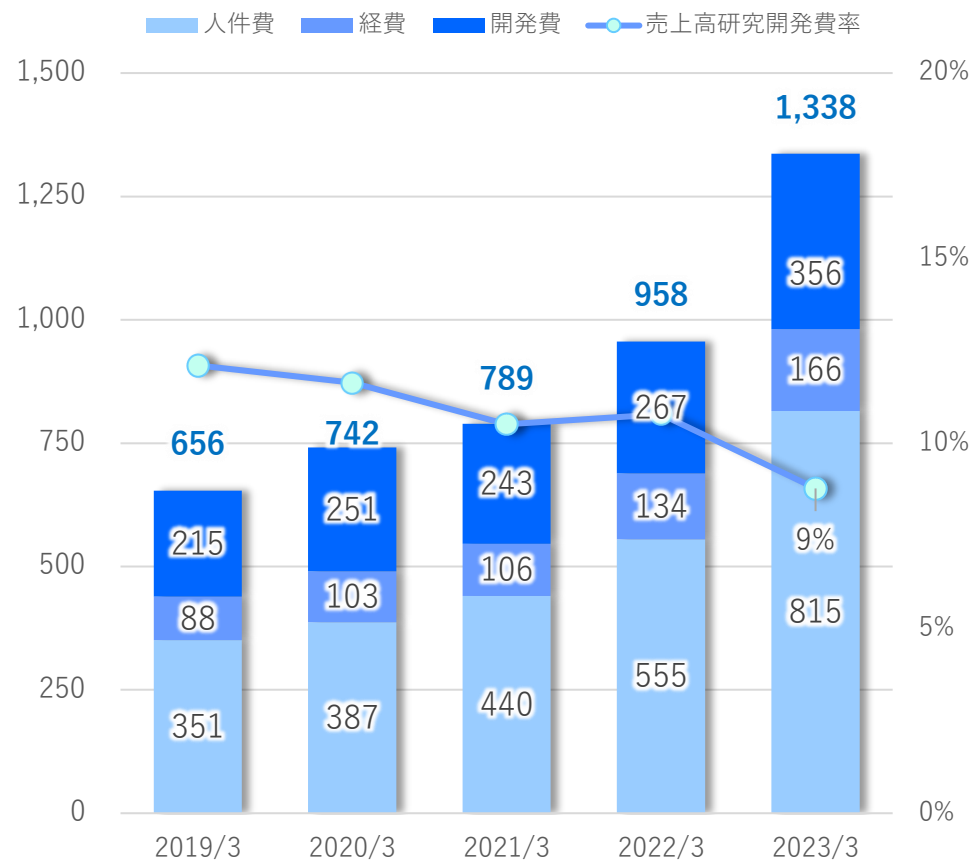
主な連結業績項目の推移 ③

(単位：百万円)

設備投資・減価償却費



研究開発費





本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の結果はこれらの見通しと異なる可能性がありますことをご了承ください。

本資料に関するお問合せ先

santec Holdings株式会社
執行役員経営管理本部長 山下 英哲
電話 0568-79-3535 (代表)
URL: <https://www.santec.com/jp>

〒485-0802
愛知県小牧市大草年上坂5823
フォトニクスバレー 大草キャンパス